

保健だより

みんな
結核を防ごう。

【BCGと健診を受けましょう】



健康推進課 健康推進係
☎42・1280

結核はどんな 病気でしょうか？

結核は、結核菌が含まれた唾や（咳・くしゃみによる）しぶきが飛び散り、それを周囲の人が吸い込むことによって、感染する病気です。

結核菌の感染を受けても、人間の持つ免疫の働きによって、結核菌の増殖が抑えられている状態では発病しません。ただし、結核菌は強い膜を持った菌であり、免疫の力だけでは菌の生育を完全に押さえ込めなくなる場合もあります。ちなみに、感染した10人のうち発病するのは1〜2人と推定されています。

免疫力で抑えられた場合にも、結核菌は休眠状態で生き続けます。そして、免疫力が落ちたときや、糖尿病を放置した場合などに再び活動し始め、発病に至る人が約20%といわれています。

高齢者世代

発病しやすい理由があります

高知県の結核患者を年代別にみると、70歳以上の人が60%以上を占めています。また、全国的にみても、高齢者結核の4人に1人が80歳以上となっています。

これは、結核が流行した1940年代ごろに青年期を迎え、結核に感染したものの自然治癒した人たちが高齢となつて、体力や免疫力が低下するなどの理由により発病すると考えられています。このため、年1回は胸部レントゲン検査を受け、肺の健康状態を確認しましょう。

働き盛り世代

我慢をせず受診しましょう

近年の調査によると、働き盛り世代は症状出現から初診までの期間が長く、発見が遅れがちとの指摘があります。元気で働き続けたい人は、一層健康に気をつけましょう。

赤ちゃん世代

BCG予防接種を受けましょう

抵抗力の弱い赤ちゃんを結核から守るためには、BCG接種が有効です。生後5カ月〜1歳のうちに受けましょう。

こんな症状に 要注意

結核の初期症状は、風邪とよく似ています。特に、咳、痰、発熱、だるさなど体調不良が2週間以上続くようなら必ず受診しましょう。

年1回の胸部レントゲン検査

結核は早期発見し、治療すれば治る病気です。まずは、須崎市の胸部検診や職場の健康診断を受け、肺に病変がないかどうかを確認しましょう。また、症状が長引くときには必ず受診し、痰の検査や診察を受けましょう。



胸部検診が始まっています。

胸部検診は40歳以上の市民を対象にセット健診として、午前中に実施しています。また、セット健診の午後には地域に向いています。

昨年からデジタル撮影になりきれいな写真で肺の状態が確認できます。

1年に1回は胸部のレントゲン写真を撮りましょう。

*セット健診は総合保健福祉センターで8:00〜11:00

*地域の巡回検診は左の保健衛生ガイドで場所、時間を確認してください。（時間厳守です）

こうちこども救急ダイヤル

「こどもの具合が、急に悪くなったけど、受診したほうがいいの？」と迷った時に。看護師が電話で相談にお応えします。

電話番号 **#8000**

または **088・873・3090** へおかけください

●相談日：365日対応 ●時間：午後8時から午前1時まで

一般 献 血

6月19日（水）

10:00〜12:00 高知県須崎第1総合庁舎

13:45〜15:30 高知県須崎第2総合庁舎

支えあう あなたの勇気 命の献血